

## 総務文教常任委員会会議記録

- 1 日 時 令和7年7月10日(木)午後1時25分から午後2時53分まで
- 2 場 所 第2委員会室
- 3 出席委員 小野塚委員長、木内副委員長、齋藤智、茂木、桑原、戸部各委員
- 4 説明者 青柳総務部長、永井秘書課長、織田澤総務課長、角田企画政策課長、  
安倍資産活用課長  
星野教育部長、栞原教育総務課長、原澤文化財保護課長
- 5 事務局 武井事務局長、峰岸次長兼庶務係長
- 6 傍聴者 新聞記者 1名
- 7 議 事 (1) 総務部各課の所管事項報告・調査事項説明  
(2) 教育部各課の所管事項報告・調査事項説明  
(3) 総務部所管事項及び教育部所管事項に関する調査事項検討及び意見交換  
(4) 今後の日程について  
(5) その他

### 8 会議の概要

#### (1) 総務部各課の所管事項報告・調査事項説明

○委員長 それでは、次第(1) 総務部各課の所管事項報告・調査事項説明に入る。

まず、秘書課の所管に係る事項について報告願う。秘書課長。

(永井秘書課長 報告)

#### ア 秘書課

##### ・報告事項

- 1 公有施設見学会について
- 2 沼田まつり歓迎交流会について

○秘書課長 それでは、秘書課の所管事項について御報告申し上げます。報告事項1「公有施設見学会について」であるが、広報事業の一環として実施する公有施設見学会を7月29日火曜日と8月8日金曜日に実施する。7月29日はテラス沼田、給食センター、菌原ダム、中央消防署を見学し、8月8日はテラス沼田、沼田警察署、菌原ダム、中央消防署を見学する。

広報ぬまた7月号及び公式SNSによる広報のほか、校長会においても市内小学生宛ての通知にて周知を行ったところである。各日とも定員15名であるが、7月29日は定員に既に達しており、8月8日については、現時点で11名の方に申込みをいただいている。

次に、報告事項2「沼田まつり歓迎交流会について」であるが、姉妹都市である下田市の市長、市議会議長及び議員をはじめ、交流都市の埼玉県鴻巣市や、長野県上田市等の関係者に御出席いただく沼田まつり歓迎交流会を8月3日日曜日午後6時30分からホテルベラヴィータにおいて開催する。議員の皆様にも御案内を差し上げるので、御出席をお願い

したい。

秘書課からは以上である。

○委員長 報告が終わった。質疑を行う。まず報告事項1「公有施設見学会について」質疑はあるか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長 次に報告事項2「沼田まつり歓迎交流会について」質疑はあるか。戸部委員。

○戸部委員 議員の支度はどうすればいいか。

○秘書課長 服装も含めて通知をさせていただく。

○委員長 ほかに。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長 なければ以上で秘書課を終了する。

次に、企画政策課の所管に係る事項について、企画政策課長説明願う。企画政策課長。

(角田企画政策課長 説明)

## イ 企画政策課

### ・調査事項

#### 1 モビリティ人材育成事業の進捗状況について

○企画政策課長 それでは企画政策課の調査事項について御説明申し上げます。調査事項1「モビリティ人材育成事業の進捗状況について」であるが、3ページから6ページに、補助事業申請時の資料を添付している。こちらは申請時の資料のため、実際の事業実施に当たり若干変更がある場合があるので御了承いただきたい。まず、3ページを御覧いただきたい。上段に黄色の帯で事業の基礎情報として、事業実施地域、対象者、習得するスキル、人材育成の手法内容、想定受講人数、想定育成人数を記載している。下段は地域交通に係る人材の現状と課題の記載である。

次に4ページになるが、こちらは事業概要の記載になる。本事業は、利根沼田地域の多様な関係者が講義・ワークショップ形式により交通に関する知見だけではなく、データ活用のノウハウ、また地域の課題等を発見し、その対策を検討するためのスキルを習得して、課題解決を推進していけるような人材の育成を目指す事業である。

次に5ページを御覧いただきたい。こちらが事業実施のスケジュールとなる。今回の調査事項の事業の進捗状況についてであるが、6月市議会定例会において補正予算として議決をいただいた後、現在補助金の交付申請中である。本事業は補助金の交付決定を受けてから事業を開始する必要があるため、交付決定後の8月9月で講義・ワークショップの企画参加者募集、10月から12月で講義・ワークショップ実施の予定である。

企画政策課からは以上である。

○委員長 説明が終わった。質疑を行う。まず、調査事項1「モビリティ人材育成事業の進捗状況について」質疑はあるか。私からいいか。

○副委員長 進行を交代する。委員長。

○委員長 育成事業であるが、民間の方が入れる可能性があるのか、何か事業化するときには、沼田だけではなく、利根沼田広域で事業がされることを想定しているのかお聞かせ

いただきたい。

○企画政策課長 まず初めに民間の事業者は入れるかということであるが、3ページに人材育成の対象として各行政担当者、地域住民、交通事業者、医療福祉関係者等ということで想定をしている事業である。

また、次の事業化をするときは、広域で事業を実施するのかということであるが、こちらの事業については、利根郡内の各町村と連携して、実施主体が沼田市ということで進めさせていただく事業である。

○委員長 承知した。ほかに。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長 なければ以上で企画政策課を終了する。

次に、資産活用課の所管に係る事項について、資産活用課長説明願う。資産活用課長。

(安倍資産活用課長 説明)

#### ウ 資産活用課

##### ・調査事項

##### 1 公共施設活用に伴うサウンディングの実施計画について

##### ・報告事項

##### 1 中央公民館跡地の利活用について

○資産活用課長 資産活用課の所管事項について、2点御説明申し上げる。

まず、調査事項1「公共施設活用に伴うサウンディングの実施計画について」である。今年度のサウンディングについては、まず県立沼田高等技術専門学校跡地を4月から6月を期間として実施した。次に、現在7月から8月を期間とし、今年度末で幼稚園としての役割を終える予定の薄根幼稚園について実施している。また、学校統合に伴い、学校施設として役割を終える予定の施設についても、教育委員会と連携しながら、適宜対応したいと考えている。

次に、報告事項1「中央公民館跡地の利活用について」である。中央公民館跡地については、沼田まつりのメイン会場で使用することを踏まえた上で、駐車場として利活用するため、昨年3月補正予算において予算計上させていただいた駐車場区画整備工事が6月末で完成したので、普通財産としての貸付けを行うものである。具体的には、現在協議中であるが、ホテルルートイン沼田に29台、一般の方向けに月ぎめ駐車場として29台、月ぎめ駐車場の貸付料は月額税込み5,000円を予定している。なお、沼田まつりのメイン会場として使用するため、準備片付けの期間を含め10日間は使用できない条件となる。今後の予定についてであるが、一般の方向けの月ぎめ駐車場の募集については、広報8月号及びホームページにてお知らせし、8月1日から申込みの受付を開始し、9月1日から貸出しを予定している。ホテルルートイン沼田への貸付けについても9月1日の貸出しを予定している。

資産活用課からの報告は以上である。

○委員長 説明が終わった。質疑を行う。まず調査事項1「公共施設活用に伴うサウンディングの実施計画について」質疑はあるか。茂木委員。

○茂木委員 県立沼田高等技術専門学校の跡地であるが、4月から6月に実施して何件くらいの申込みがあって、今どのような状況なのか、話せる範囲で構わないので伺いたい。

○資産活用課長 県立沼田高等技術専門学校跡地のサウンディングについては、今年度4月から6月13日の間でサウンディング調査を実施した。その結果については、ホームページにて公表させていただいているところであるが、内容については、参加事業者数が4事業者、活用方法の調査結果としては、土地を賃貸又は買収しての太陽光発電設備の設置、該当地までの道が狭いため工場や倉庫には向かない、水の供給量が少ないため住宅地としての活用は難しいというような意見をいただいた。この結果を受け、現在7月から沼田市ファシリティマネジメント施策に関する民間提案制度、テーマ設定型にて募集を開始している。

○茂木委員 4事業者で手を挙げたということであるが、確かに入っていく道が狭く大型トラックは入れないので、まず工場としては無理かというのは分かる。水も供給がないということになると、4事業者とも太陽光での提案であったのか。また今度民間提案はどのようになっていくのかその辺も教えていただきたい。

○資産活用課長 4事業者とも太陽光であったかということであるが、そこまでの公表は現在できないものと認識している。民間提案については、土地を活用していただくということで、特別これという条件はつけていない。

○茂木委員 市は貸すのか、それとも買っていたいただきたいのか、意向はどちらなのかお聞かせ願う。

○資産活用課長 市としては、買っていたきたいという思いはあるが、事業内容の提案を受けた上で賃貸も含めて判断していくことになると思う。

○委員長 ほかに。戸部委員。

○戸部委員 この土地の面積はどのくらいあるのか。

○資産活用課長 約1万平米である。

○戸部委員 1ヘクタールという話であるが、市としてこれからサウンディングをやるということであるが、幾つかの提案が出たら事業決定はどのようにするのか教えていただきたい。

○資産活用課長 提案の受付の締切りが9月30日までで、その後、プレゼンテーションをしていただくのが10月下旬を予定している。プレゼンテーションをしていただき、審査をして採用するかどうかをそのときに決定する。その後、詳細を協議していきながら、協議が成立した段階で事業化していくことになる。

○戸部委員 1ヘクタールの土地を有効活用してもらいたいと思うので、その辺を含めて、市としては売るか貸すか分からないが、10月に決定したいということでもいいのか。最後に教えていただきたい。

○資産活用課長 10月の審査会で判断していきたいと考えている。

○委員長 ほかに。副委員長。

○副委員長 その他の公共施設活用についてであるが、こちらにお示ししていただいているが、県立沼田高等技術専門学校跡地と薄根幼稚園ということなのだが、ほかの施設についてのサウンディングの実施等が進められているのか教えていただきたい。

○資産活用課長 その他の施設についてのサウンディングということであるが、サウンデ

ィングについては実施していない。民間提案制度について先ほどお話をさせていただいたが、テーマフリー型というものがあり、その中ではどんな提案も受けられることになっているので、そちらで御提案いただいて審査することは可能だと考えている。

○副委員長 具体的には池田幼稚園の跡地について、長く使われていない状態が続いているわけであるが、そちらについて何か提案などがあれば教えていただきたい。あるかないかだけでも結構である。

○資産活用課長 具体的な話はできないが、先ほど言った民間提案制度の中で、期待しているという状況である。

○副委員長 どちらかからの提案があるという認識でいいのだと思うが、有効的に活用していただくために、提案をいただき協議した上で、最短で、どれくらいでその方々に利用していただけるようになるか、分かれば教えていただきたい。

○資産活用課長 実際のところ提案を現在いただいているということではない。

○委員長 ほかに。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長 次に報告事項1「中央公民館跡地の利活用について」質疑はあるか。戸部委員。

○戸部委員 ホテルルートインの29台について今協議中ということであるが、沼田市がサウディングをやったものだから、間に合わずホテルルートインがあちらこちらに駐車場を造った。現在協議中で、9月1日からという話であるが、借りてくれるのか。その辺、教えていただきたい。

○資産活用課長 協議中ということで、協議が続いているということである。

○戸部委員 ホテルルートインが借りないと言ったら、今度は一般の月ぎめ駐車場に移行する予定でいるのか。

○資産活用課長 もしもそうなれば、可能性としてはあるのかと思う。

○戸部委員 普通財産になるので、その辺をしっかりと何か協議をしてもらって、サウディングを行い、その結果が出るまでは貸せなかったということなので、もう既に遅い感じがすごくある。沼田市が、ホテルルートインに来ていただきたいと言って、駐車場は貸さない感じになったのでホテルルートインとしては大変な思いをした。その辺のことがあるので、できればホテルルートインにしっかりと借りてもらえるようにしたほうがいいかと思うがどう考えているか。

○資産活用課長 その辺を踏まえた上で、前向きに協議させていただければと思う。

○委員長 ほかに。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長 なければ以上で資産活用課を終了する。

#### (4) 今後の日程について

○委員長 次に(4)今後の日程について、ア次回の委員会について、事務局から説明願う。

(事務局 説明)

○委員長 説明が終わった。次回の委員会については事務局からの説明のとおりでよい。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○委員長 それではそのように決定する。

以上で総務部各課の所管事項報告、調査事項説明を終了する。

(総務部 退室)

## (2) 教育部各課の所管事項報告・調査事項説明

○委員長 それでは教育部の所管事項報告と調査事項説明に入る。

まず、教育総務課の所管に係る事項について説明を願う。教育総務課長。

(栗原教育総務課長 説明)

### ア 教育総務課

#### ・調査事項

- 1 沼田市新たな学校づくり実施計画の進捗状況について
- 2 学校給食におけるパンや麺類の主原料となる小麦粉の原産地の把握について

○教育総務課長 それでは教育総務課の調査事項について説明させていただく。調査事項1「沼田市新たな学校づくり実施計画の進捗状況について」であるが、資料2ページを御覧いただきたい。前回報告以降の進捗状況について御説明申し上げる。一番左、白沢多那の統合についてであるが、6月18日、第1回教育活動部会を開催し、統合後における教育課程や学校行事、部活動や統合前の交流などについて協議が行われた。専門部会開催前に、学校間で相当数の協議を重ねていただいた結果、基本的に白沢小学校、白沢中学校をベースとし、義務教育学校を見据えた検討もされるところであった。出席された委員からは、多那の子供たちや保護者の不安を和らげるような取組を希望する意見等が寄せられたところである。

また、3つの専門部会が一通り終了したため、7月16日に第2回準備委員会を開催し、各専門部会からの報告を受け、統合に向けた諸課題を決定していただく予定である。

2列目池田薄根地区に関しては、6月23日に第1回準備委員会を開催し、これまでの経過や今後のスケジュール等について説明させていただいた。また、学校名をどのようにするか最優先で方向づけする必要があることから、所管する総務部会を早急に開催することとなり、第1回総務部会を7月17日に開催することとなった。一番右、周知報告等の欄であるが、7月8日沼田市小中学校PTA連合会会長会議開催時に時間をいただき、制服の関係及び実施計画の推進状況について報告し、意見交換を行ったところである。

次に、調査事項2「学校給食におけるパンや麺類の主原料となる小麦粉の原産地の把握について」であるが、パンや麺類の主原料となる小麦粉は基本的に、公益財団法人群馬県学校給食会から購入しており、学校給食会の選定基準に基づいた原料を使用しているところである。小麦粉の原産地は、パンについてはアメリカ、カナダ産が主であり、パンの種類によって群馬県産を使用している場合もある。麺類については、うどんが群馬県産、中華麺は群馬県産とアメリカ産と把握しているところである。

教育総務課所管に係る調査事項の説明は以上である。

○委員長 説明が終わった。質疑を行う。まず、調査事項1「沼田市新たな学校づくり実施計画の進捗状況について」質疑はあるか。副委員長。

○副委員長 池田薄根地区の準備委員会が開催されたということであるが、その中で、今回お願いをされて委員になっている方々から、もう少し若い世代の方もいたほうがいいのではないかという声があったのではないかと思う。現在若い方というとPTAの役員がそうなるのかと思うが、それよりも若い未就学児の親の中から選任して準備委員会の仲間になっていただくことが望まれるのではないかと思うが、その辺についてお考えがあればお聞かせいただきたい。

○教育総務課長 準備委員会の中で専門部会のメンバー選出について若い方の意見をということだと思うが、各専門部会は、出入り自由ということで検討事項に応じて、若い方向けの団体の代表をお呼びすることも想定しているところであり、そういった対応も十分できていると考えている。実際、専門部会の中では、基本的にはPTA役員がメンバーに入っているように想定している。

○副委員長 池田薄根の学校については小中一貫校という形になると思うが、小中一貫校の意味であるとか、メリットであるとか、そういったものをある程度事前に両地区の方々にお示しする必要があると思うが、その方法や準備はどのようにされているのかお聞かせいただければと思う。

○教育総務課長 小中一貫校の関係については、準備委員会だよりの中で、若干触れさせていただくことを想定している。実際には小中一貫教育のモデル校を検討しているという内容で、地区の回覧等で周知をさせていただきたいと考えている。

○副委員長 地区のそういった御案内も当然必要であるが、特に小さいお子さんのいる世代には積極的に上手に伝わるようにしていっていただければと思う。引き続きよろしくお願ひしたい。答弁は結構である。

○委員長 ほかに。戸部委員。

○戸部委員 専門部会については幾つあるのか。専門部会についてももう少し詳しく教えていただきたい。

○教育総務課長 先ほどの資料で説明させていただくと、専門部会は枠組みごとに3つずつ用意しているところである。

1つは総務部会で、検討する項目としては、統合後の校名であるとか、それに伴う校歌、校章の検討、また記念誌の作成であるとか、式典行事、PTA、講演会、同窓会等の組織編制等について専門的に検討していただくことを想定している。

2つ目が教育活動部会で、こちらは校則であるとか、部活動、児童生徒間の事前交流であるとか、学校行事、地域学校協働活動推進員との調整であるとか、教育課程に関することを調整するところと位置づけている。

3つ目が学校環境部会、通学方法であるとか、通学路の安全対策であるとか、中学生の制服であるとか、鞆であるとかを検討することを想定しているところである。

○戸部委員 具体的な部会ができていますので、それに向かって協議がある程度進んでいるのではないかと思うが、来年4月から一緒になるので、その辺専門部会の委員はどのような人たちで構成されているのか。部会によって構成メンバーは違うと思うので、その辺を教えてください。

○教育総務課長 総務部会では、検討メンバーとして、振興協議会があれば振興協議会の役員や区長会、PTAであるとか後援会や同窓会の組織の代表者、学校の先生にも入っていただいている。

教育活動部会であれば、学校運営協議会の役員であるとか、教育課程のすり合わせということなら教職員が中心になると考えている。

学校環境部会であれば、通学の関係が絡むということで、保護者にとって一番興味関心の高いところであると考えている。PTAの役員であるとか、家庭教育委員の代表であるとか、それに加えて学校の教職員もそこに含まれるような形での組織づくりを進めているところである。

○戸部委員 これだけの組織ができていますので、もう順調に進んでいくと思う。最後に来年白沢と多那が一緒になるので、統合前の交流会を行ったほうが良いと思う。どんな生徒がいるのか前もって交流していれば、合併のときにスムーズにみんな仲良くなれるのではないかと思いますので、その辺の交流会は、どのようなときにやるのか、もし具体的に分ければ教えていただきたい。

○教育総務課長 白沢と多那の関係で言うと、既に子供たちの交流というのは始まっている。例えば多那地区小学生であるが、遠足等で白沢に来て、そのときに特別新しいプログラムやイベントを用意するのではなく、虫取り網で一緒に校庭を散策したりだとか、そういった形で、教職員に対しても新しいことで極端に負担をかけることのないような、お互いの学校で意見を出し合って活動を実施しているところである。実際には子供たちが仲良くなって、その後の20分休みに流れ込んで一緒に鬼ごっこをしたりして、多那の子供たちも相当楽しかったということを保護者に伝えたということを聞いている。また、たんばらの森林の学校など学校ごとに用意されているものを白沢と多那の学校で一緒に行うなど、今後もその学校間で新たな負担とならないよう、お互いの教職員がアイデアを出し合って、いろいろなところで交流を積極的に進められているものと考えている。

○戸部委員 よかった。どんな人たちがいるのか、不安が少しでも解消されれば良いかと思った。

○委員長 ほかに。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長 なければ次に、調査事項2「学校給食におけるパンや麺類の主原料となる小麦粉の原産地の把握について」質疑はあるか。齋藤委員。

○齋藤委員 うどんが群馬県産の小麦を使っているということであった。パンはアメリカとカナダ産の小麦を使っているということだが、外国産と群馬県産の割合はどれくらいなのか。例えばその日によって今日は群馬県産100%でやっているのか、それとも一つのパンの中に外国産と群馬県産が混ざったものを提供しているのか、その辺が分かれば教えていただきたい。

○教育総務課長 パンの外国産と群馬県産の割合ということで申し上げますと、今年度は学校給食で提供するパンのうち献立表の中に出てくる丸パンと夢ロールは群馬県産の小麦を使用している。しかしながら米飯給食を週3回から4回に増やしたこともあり、提供については、群馬県産の小麦を使用したものは、学期ごとに1回程度となる。割合でいうと月に2回、11か月とすると22回のパンの提供で、その内丸パンと夢ロールの県産小麦を使用

したパンの提供回数は、学期ごとということであれば、6回程度であろう。年間通じて約27%が県内産小麦を使用したパンの提供割合という形になる。

○齋藤委員 ほかの日のパンは100%外国産の小麦でできているという認識でよいか伺いたい。

○教育総務課長 そのほかに提供するパンの種類、10数種類あるが、そちらについてはいずれもアメリカ、カナダ産ということで、把握しているところである。

○齋藤委員 外国産の小麦は、輸入のときに残留農薬であるとか、ポストハーベストでグリホサートが残っているとか、そういったことがあると思うが、それによって健康被害の懸念もあるわけであるが、市はどう認識しているのか考えを伺いたい。

○教育総務課長 外国産小麦のポストハーベストの関係による安全性ということであると思うが、国内で流通している小麦については、法令に従って国が認めた問題のない小麦が流通していると認識しているところである。

○委員長 ほかに。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長 なければ以上で教育総務課を終了する。

次に文化財保護課の所管に係る事項について、文化財保護課長説明願う。文化財保護課長。

(原澤文化財保護課長 説明)

#### イ 文化財保護課

##### ・調査事項

- 1 文化財施設の予約管理状況について
- 2 沼田横塚産業団地発掘調査事業の繰越明許費を含めた事業内容について

○文化財保護課長 それでは文化財保護課の調査事項について御説明申し上げます。調査事項1「文化財施設の予約管理状況について」である。資料4ページの文化財保護課所管施設別貸出数等一覧表及び、5ページの令和7年度文化財保護課所管施設の予約状況一覧を御覧いただきたい。施設の状況としては、稼働率が最も高い施設は旧日本基督教団沼田教会記念会堂である。本市に寄贈される以前から、貸館施設として音楽団体の練習や発表の場として多く利用されているところである。文化財は後世に残し伝えていくことを目的とする「保存」と、歴史的な価値を多くの方に知ってもらうために施設を公開する「活用」がある。この保存と活用のバランスを図りながら、施設の適切な維持管理を行い次世代へと継承していくことが重要であると考えている。文化財施設の予約管理状況については以上である。

次に、調査事項2「沼田横塚産業団地発掘調査事業の繰越明許費を含めた事業内容について」御説明申し上げます。資料8ページを御覧いただきたい。本発掘調査は、令和5年度と6年度の2か年で現地での作業が終わるよう、委託調査と市直営調査による方法で実施してきた。まず委託調査については現地における発掘作業から遺構図面の作成、出土遺物の整理、実測図の作成、報告書データの作成までを業務内容として契約している。現地での作業については、令和6年度末までに完了し、引き続き令和7年度内の業務完了を目指

して進めているところである。なお、2番、委託調査区の4地区が繰り越した委託業務の概要である。

次に、資料9ページの③直営調査区については、現地調査で得られた試料の採取が令和6年度末となり、自然科学分析及び報告書作成を引き続き令和7年度に行うため繰り越したものである。

沼田横塚産業団地発掘調査事業の繰越明許費を含めた事業や内容については以上である。

○委員長 説明が終わった。質疑を行う。まず調査事項1「文化財施設の予約管理状況について」質疑はあるか。私からいいか。

○副委員長 進行を交代する。委員長。

○委員長 沼田市の公共施設の空き状況確認サービスにアップすることを検討されているかお聞かせいただきたい。

○文化財保護課長 施設使用者の利便性向上のため市公共施設空き状況確認サービスの掲載について検討してまいりたいと考えている。

○委員長 ほかに。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長 なければ次に、調査事項2「沼田横塚産業団地発掘調査事業の繰越明許費を含めた事業内容について」質疑はあるか。戸部委員。

○戸部委員 説明を受けて大体分かったが、最終的な調査報告書がこれから出来上がるということではよろしいか。その辺を確認したい。

○文化財保護課長 委員がおっしゃるとおり、現在、整理作業を進めているので報告書作成は今後ということになる。

○戸部委員 2億8,000万円は、業者に支払わなくても大丈夫であるか。その辺が心配であるが、普通の業者であれば潰れてしまうのではないかと思うが、その辺はどうなっているか。

○文化財保護課長 8ページの資料で申し上げますと、(2)C3地区の事業者からは部分払いの請求があり、前年度に支払いを一部させていただいている。残額を繰り越したというような状況になっているので御理解いただければと思う。ほかの事業者からは特に請求がなかった状況である。

○戸部委員 C3地区は、出納整理期間中に支払いをしたのか教えていただきたい。

○文化財保護課長 正確な記憶ではないが、比較的早い段階で部分払いの請求があり、出納整理期間までかからずに処理されたと思う。

○委員長 ほかに。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長 なければ以上で文化財保護課を終了する。

#### (4) 今後の日程について

○委員長 次に(4)今後の日程について、ア次回の委員会について事務局説明願う。

(事務局 説明)

○委員長 説明が終わった。次回の委員会については、事務局からの説明のとおりでよいのか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○委員長 それではそのように決定する。

以上で教育部各課の所管事項報告及び調査事項説明を終了する。休憩する。

(教育部 退室)

(休憩 午後 2 時15分から午後 2 時21分)

#### (4) 総務部及び教育部所管事項に関する調査事項検討及び意見交換

○委員長 それでは休憩前に引き続き会議を開く。それでは次第(4)総務部及び教育部所管事項に関する調査事項検討及び意見交換に入るが、その前に1つだけ話をさせていた  
だく。先日正副議長と各委員長で議会活動をより良くするために各常任委員会の情報共有  
を図ることを目的に、連絡会議を行った。現在でも沼田市において各所管で共通した課題  
などがあり、情報を共有して進めたほうがよいのではないかという意見があり、定期的に  
連絡会議を開くことになった。その中で例えば経済建設常任委員会が移住定住政策におけ  
る課題についてという人口減少対策について調査事項を出したが、この人口減少対策につ  
いては、それぞれの委員会においても関係する事項があるのではないかという意見が出た。  
この課題について、ほかの委員会で調査してほしいということではなく、一つの意見とし  
て参考ではあるが現在の沼田市が抱えている一つの課題に対して、それぞれの委員会で関  
係する事項を調査研究していくことが課題解決や市政の発展につながるのではないかと考  
えている。ついで、今回話に出た人口減少対策について、関係する調査事項を検討して  
いくことを皆様から話を聞きたい。例えばこの委員会で、学校の統廃合問題を預かってい  
るが、空いた学校をどうするかという問題が出たときに、そこを企業誘致という観点で見  
たとき、公共施設という側面と、企業誘致という側面を、情報共有していかなければいけ  
ない。我々がよく言う行政に対して縦割りではなくて横でやっていただきたいというよ  
うなことを言うが、この委員会にあっても、それは経済建設常任委員会であるということ  
ではなくて、このようなことを話し合う連絡会議を開催し始めたところである。今回出た話も  
そうであるし、また次の調査事項もそうであるが、このような課題についてここだけでは解  
決できないので、連絡会議に諮ってくれないかというものがあればぜひ忌憚のない御意見  
をいただきたい。このようなことが議会改革ではないかと感じているので、ぜひ積極的な  
所管外とは言わないので、何かあれば、忌憚のない意見を念頭に置いて来月の調査事項を  
検討させていただきたい。

○副委員長 前段で委員長からそれぞれの委員会で、差し迫って校舎が空いてくること  
がもう分かりきっている部分があるので、その中でどのタイミングで教育財産から普通財産  
になるのか、あるいは、こういったタイミングでサウンディングとか、その後の活用につ  
いてどうやって進めていくのか、並行してやっていかないと、当然校舎が空いてからまた  
長い期間空いたままになってしまうことが想定されるので、そういうことのないようにし  
ていただくために、連携を取ってもらえればと思う。聞きたいのはどのタイミングで普通  
財産になって、利用方法についての意見を聞く機会をつくっていくのかということである。

○委員長 それは学校だけのことか。

○副委員長 思いがあるのは、学校についてである。そのほかもちろんたくさんあるが、一

遍には解決できないので、差し当たっては、今まで空いていて活用されていないところについては、いろいろな提案等がないのだと思うが、提案を受け入れる体制づくりをしていただければと思う。地元の心情からすると学校がなくなり空いてしまった学校が長い間何も使われないような状況というのは寂しいので、早い段階で効率よく活用していただきたい。なおかつ外部から人が来て活用していただくことで、移住定住や人口減少対策につながる取組を、研究や勉強していく場面も必要であると思う。

○桑原委員 副委員長が言ったことは、そのとおりだと思う。しかし、今までの例で行くと、廃校になるイコール普通財産であると思う。何もしなければ当然空いたままなのだから、人口減少対策で使えるならば、例えば高齢者施設であれば民生福祉であるとか、分かりやすい例で副委員長は言ってくれたのだと思うが、統廃合後の廃校について、総務文教では聞けないが、ほかの所管で聞いてもらうものも含めて、次の委員会から出してもらいたいという委員長の発言であると思う。

3校が廃校になるという時期が決まっているのだから、そこから先はすぐに普通財産になるので、そういう意味ではどんどん提案を……。所管でなく聞けないからこそ、ほかの委員会で聞いてもらうと言うことも考えていかなければならない。提案をしていくということが重要であると思う。

○委員長 いつ普通財産にするのかは、通常しばらくしてからになるものだと思うが、並行して進められれば。

○桑原委員 教育財産でなくなることは間違いないわけである。

○副委員長 使用の目的によっては教育財産のままになるかと思うが、いわゆるサウンディングという方式を早めに、統廃合が決まって学校が空く前から声かけをしていく必要があると思った。

○委員長 空いたから何をするではなく、空くから並行して何をするかという、空き期間を短くするための検討ということか。

○桑原委員 薄根幼稚園の話が出たが、現実薄根幼稚園は3年も4年も前から廃園になることはみんな分かっている。だから一般質問の中でどのように使いたいとか提案をしなければならない。現実、サウンディングには手を挙げているし薄根地区でどのように使うかは振興協議会の中でも話をしている。アクションを起こさないと。

教育委員会は教育財産であれば事務をやっていかなければならないが、普通財産になった段階で教育委員会から手が離れていく、どこが所管だと言ってもどこも動かないわけがあるので、福祉で使うなら民生福祉へ提案をしていかなければ駄目だと思う。個人が貸してくれと言っても無理であるので、サウンディングにかけてくれという段階でやっていると、動かないと思う。あと公共施設の床面積40%削減という大きなテーマがあるわけであるから、達成率がどこまでいっているか分からないが、まだ半分もいっていないだろうからいろいろ出てくると思う。いずれにしても前回除却について話が出たが、解体にはお金がかかるから、なかなか進まない。だからそのままになってしまう。所管外であってもそういったところは意見を上げてもらい連絡会議の中で委員長へ言ってもらう。

○委員長 連絡会議では、サウンディングの期間をはじめ、ほかの委員会にパスをするという話をするが、副委員長の所管事項としては、先程ほかのサウンディングの計画はないと報告があったので、そこを聞くことにするか。今月と同じになるが、それだけ興味があ

ることだと思うのでサウンディングの開始時期についてであるとか。

○桑原委員 聞くのはいいが、何もなければサウンディングはしないと思う。企業が個別に言ってくるから動く、何もなければ動かない。だから進まないのだと思う。教育財産から離れて普通財産だから、何年経っても変わらない。川田の職業訓練校もそうだが、何年経っても変わらない。例えば太陽光の話が個別にいつているかもしれないが、サウンディングはどこかと聞いてもないと思う。

○戸部委員 学校関係は面積が大きい。普通のところは無理である。このため産業振興課で動かないと建物も大きく面積もあるので、今一生懸命やっている企業との関係でやらないと、民間の小さなところでは無理であると思う。ある程度大きなところが来ないと無理であるので、産業振興課に投げかけたほうがよいのではないかと思う。

○委員長 この件は連絡会議に送りたい。総務文教の調査事項としては控える。

○戸部委員 学校だけだとするとそんなに甘くない。

○委員長 単純に送るだけの話ではなく、今回の給食の件でも地産地消率を上げようと思ったら農林課に携わってきってしまうので。

○副委員長 市有財産の削減率の目標が40%という言い方でよかったか。それに向けてどのくらいの達成率か。

○委員長 公共施設の削減取組状況について、達成率40%はどうなっているかを聞くのがよいのではないか。公共施設の削減率の進捗状況について。

○桑原委員 それについては先月リストをいただいている。あれがまた来るだけである。

○副委員長 目標達成に向けての取組について。

○桑原委員 除却と書いてあるものは貸さないし、除却のものはお金がないからできないことを前回確認した。あのリストが来るだけである。

○戸部委員 委員長が言ったように委員会をまたいで提案をしようとするのであれば、教育財産から普通財産になれば、今度産業振興課が動かないと。

○委員長 こちらから経済のことを送っても駄目なので、経済のほうには、そういった案件もあるということをお願いする。ここでは端的に担当課に質問を送らせてもらいたい。また、連絡会議の中でこういった意見があったので、こういう観点で経済に聞いてもらえないかと話をしたい。

○戸部委員 これは資産活用課もある。

○委員長 探り探り始まったところなので、全体の枠組みをどう運営していくかは、横の情報共有をして委員会が取り組んでいかなければならないのだと思う。まずは探り探り始めているということを共通認識してもらいたい。まず、通常の調査事項はあるか。

○桑原委員 所管がどこだか分からないが、去年の沼田城の請願について、城を造るということではなくて、沼田城の請願について聞いたほうがよいのではないか。

○委員長 横断的な組織をつくっていただきたいというもの。

○桑原委員 あれは総務文教常任委員会であるので、前年度のことであるし、お城を造っていただくということではないのだから、先日調査結果も出た訳であるので、まだこれからということは分かっているが、どういう時系列で、どのようなことを組織化していくのかということ聞いたほうがよいのではないか。

○委員長 それでは請願について、請願を出したが、横断的な部署をまたいでの連携がど

うなっているかと聞くか。請願の進捗状況について。

○茂木委員 請願は採択になったわけであるので、それに対して市はどのように今動いているのか。今回沼田城の調査結果も出たわけであるので。

○委員長 学校については毎回の調査事項であるので、1つは学校についてとする。

○戸部委員 白沢と多那が交流しているというのはよかった。不安が解消されるので。

○委員長 教員の数など減るものがでてくる。輸送コストであるとか、増えるものもあるだろうし、そういったものを聞きたい。何が減って何が増えるのか。

○戸部委員 まだ分からないのではないかな。来年度予算に向けてとなるのではないかな。

○齋藤委員 職員課で採用試験について新しい取組があるとの話があったが、その結果が出るのがいつになるか。

○戸部委員 9月だと思う。

○齋藤委員 それでは、まだ先とする。

○委員長 給食を充実できるようなものがあればと思うが…。

今回については、毎月の学校の件と、企画政策課への沼田城の請願の件についてとする。文言については検討することとする。

(「はい」と呼ぶ者あり)

#### (4) 今後の日程について

○委員長 それでは、(4) 今後の日程について、イ今後のスケジュールについて、事務局説明願う。

(事務局 説明)

○委員長 説明が終わった。以上のとおり御承知おき願う。

#### (5) その他

○委員長 次に、(5) その他について何かあるか。事務局。

(事務局 沼田まつり、下田市姉妹都市交流事業について 説明)

○委員長 説明が終わった。以上のとおり御承知おき願う。

ほかにあるか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長 なければ以上で本日の委員会を終了する。

(午後2時53分 終了)